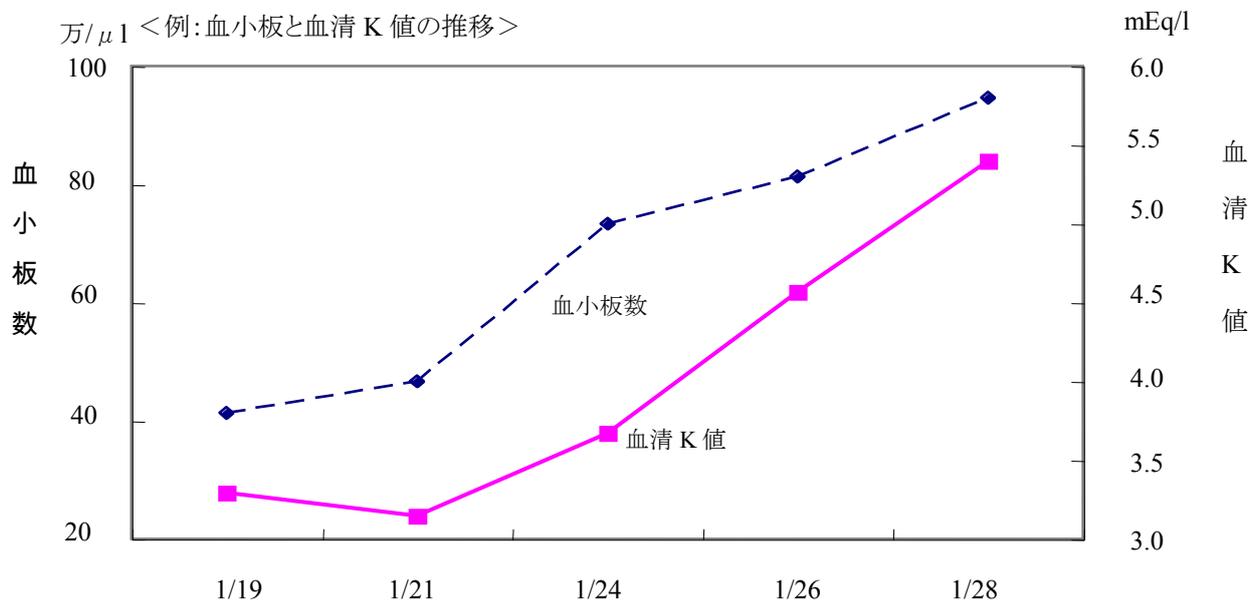


Lab News

テーマ “偽性高カリウム血症”

カリウムは主として細胞内に存在する陽イオンで、細胞内陽イオンの大部分(平均約 150mEq/l)を占めます。血清 K 値(細胞外)の正常範囲は 3.2~5.2mEq/l で、健常人の場合は血清 K 値が血漿 K 値より 0.2mEq/l ほど高くなります。一方、血小板増多による偽性高カリウム血症では、血清 K 値が血漿 K 値より 0.4mEq/l 以上高値を示すと定義されています。

偽性高カリウム血症の要因として、第一に溶血があげられます。また、全血の検体を冷蔵保存した場合にも、細胞内のカリウムが細胞外に放出され偽性高カリウム血症の原因になります。もう一つの要因として血小板が高値の場合、血小板崩壊により細胞外へカリウムが放出され、血清中の K 濃度が上昇することがあります。特に血小板数が 60 万/ μ l 以上ではその頻度が増すので、血清 K 値が高値の場合には血小板数に注目する必要があります。その場合には、ヘパリン採血による血漿 K 値測定により確認ができます。



<偽性高カリウム血症のまとめ>

1. 血清 K 値が高値の場合、偽性高カリウム血症であるか否かを確認する。特に、血小板数が 60 万/ μ l 以上の時には注意が必要である
2. 血小板増多による偽性高カリウム血症を疑う時には、ヘパリン採血による確認ができます

文献 1) 水越 洋 : Laboratory Date 309-314. 2000

2) 田窪 孝行 : 検査と技術 33 (5) 477-478. 2005